

令和 4年度

事務事業評価表 ( 令和 3年度 の実績評価)

記入年月日  
令和 4 年 4 月 1 日

事務事業名		桜川市スキー教室事業				事業区分		担当	
						新規/継続	継続	事務事業No.	020401000072
						単独/補助	単独		090501
政策体系		政策体系上の位置付け						所属課	スポーツ振興課
総合計画の施策名		O204 生涯スポーツ活動の振興						課長名	
政策名		02 生きがいを育む学びのまちづくり						グループ	スポーツ振興G
施策名		04 生涯スポーツ活動の振興						担当者名	
手段名		01 ①スポーツをする機会の充実							
		財務会計上の位置付け				事業期間			
予算科目	会計	款	項	目	事業	細	一般会計		
	01	10	06	01	02	00	単年度繰返し (昭和60年度~)		
法令根拠					保健体育総務事業		期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入		

【Do】 1. 事務事業の現状把握 (その1)

(1) 事務事業の概要	
①事務事業の概要 (事務事業の全体像)	②担当者が行う業務の内容・やり方・手順
<ul style="list-style-type: none"> <li>冬のスポーツに接する機会の少ない市内の小学生 (1~3年生は親子) を対象に、冬季における運動不足の解消や、冬季スポーツの促進、また、スキーの基本技術の習得等を目的に実施している。インストラクターは、市内のスキー連盟の方々を中心となり教室を開催している。</li> <li>実行委員会を立ち上げ、参加者より参加費を徴収 (大人/6,500円、子供/6,000円:板・ウェア等のレンタル料は別途) し、事業を行っている。</li> </ul>	参加者募集、スキー場予約、桜川市スキー連盟協力依頼、参加者取りまとめ、使用バスの契約、当日資料作成、教室随行、決算書作成等

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

①手段 (担当者の活動内容)	④活動指標 (活動量を表す指標)	単位	02年度	03年度	04年度	05年度	06年度
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)
参加者募集、スキー場予約、桜川市スキー連盟協力依頼、参加者取りまとめ、使用バスの契約、当日資料作成、教室随行、決算書作成等	事業回数	回	0.00	0.00	1.00	1.00	1.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象 (誰、何を対象にしているのか)	⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)	単位	02年度	03年度	04年度	05年度	06年度
市内小学生 (1~3年生は親子)	市内小学生 (1~3年生は親子)	人	1,914.00	1,900.00	1,800.00	1,700.00	1,600.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)	⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	単位	02年度	03年度	04年度	05年度	06年度
冬季におけるスポーツ活動の普及、また、冬季の運動不足の解消	スキー教室参加者	人	0.00	0.00	120.00	80.00	80.00
	満足度	%	0.00	70.00	70.00	70.00	70.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(3) 投入量 (事業費) の推移

投入量	事業費内訳	単位	02年度	03年度	04年度	05年度	06年度	期間限定総投入量
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)	
事業費	国庫支出金	千円	0	0	0			
	県支出金	千円	0	0	0			
	地方債	千円	0	0	0			
	使用料・手数料	千円	0	0	0			
	その他	千円	0	0	0			
	一般財源	千円	0	0	629			
	事業費計 (A)	千円	0	0	629			
正規職員従事人数	人	1.00人	5.00人	5.00人				

事業費の内訳	03年度事業費 実績 (千円)			04年度事業費 予算 (千円)		
				07 報償費	150	
			13 使用料及び賃借料	479		
			合計	0		
					合計	629

事務事業名	桜川市スキー教室事業	事務事業No.	20401000072	所属課	スポーツ振興課
(4) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？					
合併前の3町村で約30年ほど前から行っており、平成22年度までは、旧3町村単位で各々実施していたが、平成23年度から一本化して桜川市スキー教室として開催している。					
(5) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？					
参加費も安く、企画も充実しているため、是非継続して欲しいとの意見が多く寄せられている。					

【See】 2. 評価の部 \*原則は事前評価。

評価項目	
現状維持	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 冬季におけるスキースポーツの実施により、スポーツをする機会を設けることは、生涯スポーツ活動の振興に結びついている。
有効性	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？) (法定受託事業はその名称)
	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 参加者がその活動により、上記の意図や結果を生んでいく契機となっている。運動に対して消極的になりがちな冬季において、小学生限定ではあるが、市民を対象としたスポーツ環境を創るということで妥当である。
効率性	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？)
	<input type="checkbox"/> 向上余地がない スキー教室に参加した方々の意見としては、とても楽しく実施できたとの声を多数いただいたが、参加者数や日程に限りがあるので向上余地は少ないと思われる。
	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？)
公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有 安易に始められないスポーツであるので、廃止・休止すると冬季における市民スポーツの機会が失われる。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか？(市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合)
<input type="checkbox"/> 余地がない 類似事業は特にない。	
公平性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？)
	<input type="checkbox"/> 削減余地がない 近年、バス借上げ代が値上げになっている。その分負担金を上げた経緯があることから、削減余地はない。
⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？)	
<input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である バス借上げ・講師謝礼以外の経費は参加者負担となっているため公正・公平である。	

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性 (次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																											
①目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	令和2年度及び令和3年度事業については新型コロナウイルス感染症の影響により、実施する事が出来なかった。 今後も参加者からの意見や要望を取り入れ、より良い事業にしていきたい。																											
②有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																												
③効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																												
④公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																												
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																											
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持		(複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																											
(5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策		<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="2">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th rowspan="2">低下</th> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持				低下	維持				低下			
		コスト																											
		削減	維持	増加																									
成果	向上		○																										
	維持																												
低下	維持																												
	低下																												
(6) 事務事業優先度評価結果		成果優先度評価結果 ①																											

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価	確認欄
<input checked="" type="checkbox"/> A A: 継続 (現状維持) C: 終了、廃止、休止 B: 継続 (改革改善を行う) D: 2次評価へ提出	<input type="checkbox"/>